

# 福岡市教員採用試験

令和7年度(2024年実施)

教職教養

共通問題

問1 次のア～オの四字熟語の意味を選んだとき、正しい組合せを選びなさい。

ア 虚心坦懐

- a わだかまりがなくさっぱりしていること。
- b 気持ちが沈んで元気がなくなること。

イ 換骨奪胎

- a 困難な状況の中で苦しみながらも、力の限り努力すること。
- b 先人の詩文などを借用して、新しく作品を作りあげること。

ウ 鷄鳴狗盗

- a 見かけだけは立派で、内容が伴っていないこと。
- b くだらない技能でも、役に立つことがあること。

エ 乾坤一擲

- a 二人以上の人間が心を一つにすること。
- b 自分の運命をかけた大勝負をすること。

オ 鼓腹撃壤

- a 政治がゆきとどき、人々が太平を楽しむさま。
- b 人や家が繁栄したり、衰退したりするさま。

- ア イ ウ エ オ
- ① a a a b b
  - ② a b b b a
  - ③ b b a a b
  - ④ b a b a a

問2 次のことわざ・慣用句とその意味の組合せとして、誤っているものを選びなさい。

- | ことわざ・慣用句  | 意味                         |
|-----------|----------------------------|
| ① 螻蛄の斧    | 弱者が強者に立ち向かうこと。             |
| ② ひそみにならう | 事のよしあしを考えず、いたずらに人まねをすること。  |
| ③ 尻馬に乗る   | 無批判に人のすることに便乗すること。         |
| ④ 病膏肓に入る  | 病気は気持ち次第で重くもなるし軽くもなるということ。 |

問3 ある学校の生徒200名に対して、通学時における電車とバスの利用状況について調査をしたところ、電車を利用して生徒が74人、バスを利用して生徒が83人、どちらも利用していない生徒が92人であった。電車とバスの両方を利用して生徒の人数を求め、正しい答えを選びなさい。

- ① 43    ② 49    ③ 65    ④ 108

問4 次の(1), (2)の各文は, 地方自治に関するもの, (3), (4)の各文は, 国家の領域に関するものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) 地方公共団体は, 地方税などの自主財源がきわめて少なく, 「三割自治」ともいわれたように, 地方交付税や(ア)など国からの援助に大幅に依存してきた。
- (2) 1999年に地方分権一括法が成立したことにより, 地方公共団体の事務は自治事務と(イ)とに整理された。
- (3) 国際法上の国家の領域に関して, 沿岸国は基線から200海里までの(ウ)においては, 沿岸国が資源やエネルギー利用などについて主権的権利を有する。
- (4) 日本の領土のうち, 最南端にあたる島は(エ)である。

	ア	イ	ウ	エ
①	国庫支出金	法定受託事務	排他的経済水域	沖ノ鳥島
②	国庫支出金	機関委任事務	排他的経済水域	与那国島
③	財政投融资	機関委任事務	接続水域	沖ノ鳥島
④	財政投融资	法定受託事務	接続水域	与那国島

問5 ヒトの目は, 明るさによってひとみの大きさを変える。次のうち, ヒトの目のレンズに入る光の量を調節するつくりの名称を答えなさい。

- ① ガラス体    ② 角膜    ③ 網膜    ④ 虹彩

問6 次の対話文は、友人AとBの会話である。文中の（ア）～（エ）に入る適当なものをそれぞれa～cから選んだとき、最も適切な組合せを選びなさい。

A : Long time no see!

B : Yeah, it is! How have you been?

A : (ア). How about you?

B : Actually, I just came back from Canada.

A : Oh, I didn't know that. (イ)?

B : I went there for work, but I had a few days off while I was there.

A : I'm glad you were able to relax a little. Did you do anything fun?

B : Yes, I did. I saw an old friend who lives in Canada for the first time in 20 years.

A : (ウ).

B : That's right. I used to hang out with him all the time when I was in elementary school. We have a lot of childhood memories together.

A : (エ).

B : That's really true.

a. I've been good

ア b. I've been to Canada

c. I've just arrived in Narita airport

a. Where did you work

イ b. How did you go there

c. What were you there for

a. That must have been fun

ウ b. You will see him anytime

c. He should be 20 years old

a. It's necessary to forget memories of old friends

エ b. It's always fun to talk about the old days with an old friend

c. It took me a long time to remember the old days

ア イ ウ エ

① a b c b

② c a b a

③ a c a b

④ b a b c

問7 次の(1)～(4)の各文は、「日本国憲法」の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(オ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に(ア)のためにこれを利用する責任を負ふ。
- (2) 何人も、公務員の不法行為により、損害を受けたときは、法律の定めるところにより、国又は公共団体に、その(イ)を求めることができる。
- (3) すべて国民は、健康で(ウ)な最低限度の生活を営む権利を有する。
- (4) この憲法の改正は、各議院の総議員の(エ)の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その(オ)の賛成を必要とする。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	公共の福祉	補償	文化的	過半数	三分の二以上
②	基本的人権の尊重	補償	社会的	三分の二以上	三分の二以上
③	公共の福祉	賠償	文化的	三分の二以上	過半数
④	基本的人権の尊重	賠償	社会的	過半数	過半数

問8 次の文は、「教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定)「IV. 今後5年間の教育政策の目標と基本施策」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

目標11 教育DXの推進・デジタル人材の育成

(略)

【基本施策】

(略)

- ・ 学習指導要領において学習の基盤となる資質・能力として位置付けられた<sup>ア</sup>問題解決能力(情報モラルを含む。以下同じ。)育成のために、GIGAスクール構想によって整備された端末の利活用の日常化を促進するとともに、<sup>イ</sup>FinTechをはじめとした教育産業の力も活用しつつ、優れた事例の創出を図る。その際、特に、情報技術を活用した問題の発見・解決の方法や、情報化が社会の中で果たす役割や影響、情報技術に関する制度・マナー、個人が果たす役割や責任、情報の真偽を吟味する力、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ<sup>ウ</sup>効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けさせることを重視するとともに、動画教材など<sup>エ</sup>コンテンツの充実を図り、学校だけではなく、自分自身でも学ぶことができる環境を構築する。

- |   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| ① | × | ○ | × | ○ |
| ② | ○ | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | × | × | × |
| ④ | × | × | ○ | ○ |

問9 次の文は、「令和5年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」(環境省)の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

気候変動問題は今や「<sup>ア</sup>気候危機」とも言われていて、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることができない、喫緊の課題です。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測され、我が国においても平均気温の上昇、大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測されています。

この地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年に<sup>イ</sup>京都議定書が採択され、世界各国が世界共通の長期目標として、世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することや、今世紀後半に<sup>ウ</sup>温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成することなどを合意しました。この実現に向けて、世界が<sup>エ</sup>取組を進めており、120以上の国と地域が「<sup>エ</sup>2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げています。

- |   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| ① | × | ○ | ○ | × |
| ② | ○ | × | ○ | ○ |
| ③ | × | ○ | × | ○ |
| ④ | ○ | × | × | × |

問10 次の各文は、「消費者基本法」(昭和43年法律第78号)の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

第二条

5 消費者政策の推進は、(ア)に配慮して行われなければならない。

第六条

事業者団体は、事業者の自主的な取組を尊重しつつ、事業者と消費者との間に生じた(イ)の体制の整備、事業者自らがその事業活動に関し遵守すべき基準の作成の支援その他の消費者の(ウ)を確保するための自主的な活動に努めるものとする。

第七条

2 消費者は、消費生活に関し、(ア)及び(エ)等の適正な保護に配慮するよう努めなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
①	環境の保全	被害の救済	利益	消費者の権利
②	環境の保全	苦情の処理	信頼	知的財産権
③	公正な取引	被害の救済	信頼	消費者の権利
④	公正な取引	苦情の処理	利益	知的財産権

問11 次の文は、「教育基本法」(平成18年法律第120号)の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

第九条

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な(ア)を深く自覚し、絶えず研究と(イ)に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

2 前項の教員については、その(ア)と職責の重要性にかんがみ、その(ウ)は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と(エ)の充実が図られなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
①	職務	省察	身分	福利
②	使命	修養	身分	研修
③	使命	省察	地位	福利
④	職務	修養	地位	研修

問12 次の(1)～(5)の各文は、法律の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(オ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) 経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、(ア)は、必要な援助を与えなければならない。

【学校教育法第19条】

- (2) 職員は、この法律で定める事由による場合でなければ、その意に反して、降任され、又は免職されず、この法律又は条例で定める事由による場合でなければ、その意に反して、休職され、又は(イ)されることがない。

【地方公務員法第27条第2項】

- (3) 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の(ウ)を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

【学校教育法第12条】

- (4) 学校の設置者及びその設置する学校は、当該学校におけるいじめを防止するため、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民その他の関係者との連携を図りつつ、いじめの防止に資する活動であって当該学校に在籍する児童等が自主的に行うものに対する支援、当該学校に在籍する児童等及びその保護者並びに当該学校の教職員に対するいじめを防止することの重要性に関する理解を深めるための(エ)その他必要な措置を講ずるものとする。

【いじめ防止対策推進法第15条第2項】

- (5) 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の(オ)のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。

【地方公務員法第35条】

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	国	降格	保持増進	研修	注意力
②	市町村	降格	維持向上	啓発	集中力
③	国	降給	維持向上	研修	集中力
④	市町村	降給	保持増進	啓発	注意力

問13 次の(1)～(4)の各文は、心理療法について述べたものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) フロイト(Freud, S.)は、神経症症状を抑圧された無意識の欲求の現れと考えた。こうした抑圧を取り去るための方法をフロイトの(ア)療法という。
- (2) ロジャーズ(Rogers, C.R.)は、生命体である人間には本来、自らを維持し強化する方向に全機能を発展させようとする内的な自己実現の傾向が備わっていると考え、(イ)療法を提唱した。
- (3) 対人関係を円滑に進めていくための具体的行動やそれを実行できる能力を学習して身につけることを(ウ)トレーニングという。
- (4) 心理療法のうち、おもに遊びを媒介としたものである遊戯療法は、遊び自体がもつところの緊張を解放する(エ)という効果があることから、子ども、特に小学校低学年の子どもにとって有効であると言われている。

	ア	イ	ウ	エ
①	精神分析	ゲシュタルト	ソーシャル・スキル	昇華
②	認知行動	ゲシュタルト	アサーション	カタルシス
③	認知行動	来談者中心	アサーション	昇華
④	精神分析	来談者中心	ソーシャル・スキル	カタルシス

問14 次の各文は、「教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定)「Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針」「(2) 日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～オについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

- ウェルビーイングとは身体的・精神的・経済的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。
- ウェルビーイングと学力は同一的に捉えるのではなく、個人のウェルビーイングを支える要素として学力や学習環境、家庭環境、地域とのつながりなどがあり、それらの環境整備のための施策を講じていくという視点が重要である。また、社会情動的スキルやいわゆる非認知能力を育成する視点も重要である。
- 第2期教育振興基本計画において掲げられるとともに、第3期教育振興基本計画においてもその理念が継承された「自立」、「協働」、「能動」については、「自立」と「協働」は個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に対応する方向性であり、「才能動」は主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通じてもたらされるものである。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	×	×	×	○
②	×	○	×	○	×
③	○	○	○	×	○
④	○	×	○	○	×

問15 次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月文部科学省）「第I部 生徒指導の基本的な進め方」「第1章 生徒指導の基礎」「1.2 生徒指導の構造」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

### 1.2.2 発達支持的生徒指導

発達支持的生徒指導は、特定の課題を（ア）、全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるものです。発達支持的というのは、児童生徒に向き合う際の基本的な立ち位置を示しています。すなわち、あくまでも児童生徒が（イ）に自らを発達させていくことが尊重され、その発達の過程を学校や教職員がいかに（ウ）いかかという視点に立っています。すなわち、教職員は、児童生徒の「個性の発見と（エ）の伸長と社会的（オ）の発達を支える」ように働きかけます。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	設定し	意図的・計画的	支えて	主体性	資質・能力
②	設定し	自発的・主体的	指導して	主体性	適応力
③	意識することなく	自発的・主体的	支えて	よさや可能性	資質・能力
④	意識することなく	意図的・計画的	指導して	よさや可能性	適応力

問16 次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月文部科学省）「第I部 生徒指導の基本的な進め方」「第1章 生徒指導の基礎」「1.3 生徒指導の方法」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

### 1.3.4 チーム支援による組織的対応

深刻化、多様化、（ア）する生徒指導の諸課題を解決するためには、前述のように、学級・ホームルーム担任が一人で問題を抱え込まずに生徒指導主事等と協力して、（イ）型支援チームで対応することが求められます。また、対応が難しい場合は、生徒指導主事や（ウ）、学年主任、養護教諭、SC、SSW等校内の教職員が連携・協働した校内連携型支援チームによる組織的対応が重要となります。さらに、深刻な課題は、校外の関係機関等との連携・協働に基づく（エ）型支援チームによる地域の（オ）を活用した組織的対応が必要になります。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	複雑化	能動的連携	保健主事	複線	社会資源
②	低年齢化	能動的連携	教育相談コーディネーター	複線	人材
③	複雑化	機動的連携	保健主事	ネットワーク	人材
④	低年齢化	機動的連携	教育相談コーディネーター	ネットワーク	社会資源

問17 次の各文は、「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」（令和5年3月）「5. 特別支援学校の専門性を活かした取組等」「通常の学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3の規定に該当する障害の程度の児童生徒への支援」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

○ これらの児童生徒に対しては、特別支援学校の（ア）機能としての特別支援教育の専門性を有する教師による指導や支援、通級による指導、（イ）の配置、教室内における障害の程度等に応じた合理的配慮などの支援が行われているが、更なる充実を図ることが求められる。

○ なお、障害のある児童生徒一人一人の（ウ）を把握し、障害の状態等の変化に応じて適切な教育を行うためには、就学前、就学时、そして就学後も継続して（エ）を行うことが重要である。そのためには、学校内の特別支援教育に関する体制を整備しながら、（エ）や個別の教育支援計画に基づく関係者による会議などを定期的に行い、支援の目標や教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容についての評価に基づき、必要に応じて個別の教育支援計画や個別の指導計画の見直しを行うとともに、学びの場を柔軟に変更できるようにしていくことが重要である。

	ア	イ	ウ	エ
①	センター的	特別支援教育コーディネーター	実態	進路相談
②	相互補完的	特別支援教育支援員	実態	教育相談
③	センター的	特別支援教育支援員	教育的ニーズ	教育相談
④	相互補完的	特別支援教育コーディネーター	教育的ニーズ	進路相談

問18 次の文は、「第3次学校安全の推進に関する計画」（令和4年3月25日閣議決定）の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

## I 総論

学校安全の活動は、「（ア）」、「交通安全」、「災害安全」の各領域を通じて、自ら安全に行動したり、他の人や社会の安全のために貢献したりできるようにすることを旨とする「安全教育」、児童生徒等を取り巻く環境を安全に整えることを旨とする「（イ）」、これらの活動を円滑に進めるための「組織活動」という3つの主要な活動から構成されている。

特に、組織活動については、安全教育と（イ）を相互に関連付けるものであるとともに、（ウ）の構築のみならず、学校安全に関わる活動の担い手となりうる学校外の多様な主体との連携が求められるものである。

## II 学校安全を推進するための方策

（略）

### 4 学校における（イ）の取組の充実

（略）

#### （4）学校管理下において発生した事故等の検証と再発防止等

学校の管理下において事件・事故が発生した際、学校及び学校設置者には児童生徒等の（エ）を最優先に迅速かつ適切な対応を行うとともに、発生原因の究明やこれまでの安全対策の検証、児童生徒等に対する（オ）や保護者への十分な説明、再発防止の取組など様々な取組が求められる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	生活安全	安全点検	相談体制	安全と安心	心のケア
②	保健安全	安全管理	相談体制	生命と健康	アンケートの実施
③	生活安全	安全管理	校内体制	生命と健康	心のケア
④	保健安全	安全点検	校内体制	安全と安心	アンケートの実施

問19 次の各文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）及び「部落差別の解消の推進に関する法律」（平成28年法律第109号）の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」

- 人権尊重の理念について、特に学校教育において指導の充実が求められる人権感覚等の側面に焦点を当てて児童生徒にもわかりやすい言葉で表現するならば、〔自分の（ア）とともに他の人の（ア）を認めること〕であるということができる。
- 各学校においては、人権教育のこのような意義も踏まえ、人権文化の構築に向けた各般の取組とも歩調を合わせながら、（イ）で子どもたちを育てていくという視点に立って、人権教育の活動を進めていく姿勢が重要となる。
- 教職員においては、個別の人権課題の指導に取り組むに際し、まず当該分野の関連法規等に表れた考え方を正しく理解するとともに、その人権課題にかかわる（ウ）等への理解を深めることが重要である。

「部落差別の解消の推進に関する法律」

第二条

部落差別の解消に関する施策は、全ての国民が等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、部落差別を解消する必要性に対する国民一人一人の理解を深めるよう努めることにより、部落差別のない社会を（エ）することを旨として、行われなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
①	権利	学校全体	関係者	展望
②	大切さ	社会全体	当事者	実現
③	権利	社会全体	関係者	展望
④	大切さ	学校全体	当事者	実現

問20 次の各文は、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」（平成12年法律第147号）及び「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」（平成31年福岡県条例第6号）の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」

第一条

この法律は、人権の尊重の緊要性に関する認識の高まり、ア社会的地位、門地、人種、信条又は性別による不当な差別の発生等の人権侵害の現状その他人権の擁護に関する内外の情勢にかんがみ、人権教育及び人権啓発に関する施策の推進について、国、地方公共団体及び国民の責務を明らかにするとともに、必要な措置を定め、もって人権のイ擁護に資することを目的とする。

「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」

第八条

県は、同和地区（歴史的、経済的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域をいう。以下同じ。）に居住していること又は居住していたことを理由としてなされるエ結婚及び就職に際しての差別事象（略）の発生を防止することにより、部落差別の解消を推進するものとする。

- |   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| ① | × | ○ | × | ○ |
| ② | ○ | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | × | × | × |
| ④ | × | × | ○ | ○ |

kyosai-guild.jp

### 選択問題

- (1) 中学校教員（併願者のうち、中学校を第一希望とする者を含む）・養護教員・栄養教員志願者は、[問21]～[問25]を選択し、解答しなさい。
- (2) 高等学校教員志願者（併願者のうち、高等学校を第一希望とする者を含む。）は、[問26]～[問30]を選択し、解答しなさい。
- (3) 特別支援学校教員志願者は、受験票に記載した区分（小・中・高）に従って問題を選択し、解答しなさい。（小学部の志願者は[問21]～[問25]を解答しなさい。）

問21 次の文は、小学校〈中学校〉学習指導要領解説特別の教科 道徳編（平成29年文部科学省）「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」「第2節 道徳科の指導」「3 学習指導の多様な展開」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

#### (1) 多様な教材を生かした指導

道徳科では、ア身近な出来事を題材とした教材を用いることが広く見られる。教材については、例えば、伝記、実話、意見文〈論説文〉、物語、詩、劇などがあり、多様な形式のものを用いることができる。それら〈教材〉を学習指導で効果的に生かすには、登場人物の立場に立って自分との関わりで道徳的価値について理解したり、そのことを基にして自己を見つめたりすること〈など〉が求められる。また、教材に対する感動を大事にする展開にしたり、道徳的価値を実現する上でのイ迷いや葛藤を大切にしたりした展開、知見や気づきを得ることを重視した展開、ウ批判的な見方を含めた展開にしたりするなどの学習指導過程や指導方法の工夫が求められる。その際、教材から読み取れる価値観を一方的に教え込んだり、登場人物の心情理解に偏ったりした授業展開とならないようにするとともに、児童が道徳的価値を自分との関わりで考えることができるようにエ体験的な学習を積極的に導入することが求められる。

- |   | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | × | ○ |
| ② | ○ | × | ○ | × |
| ③ | × | × | × | ○ |
| ④ | × | ○ | ○ | × |

問22 次の各文は、「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」(令和元年10月25日文部科学省)「不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～オについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

- 不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、ア社会的に自立することを目指す必要があること。
- 不登校児童生徒への支援については児童生徒が不登校となった要因を的確に把握し、学校関係者や家庭、必要に応じて関係機関が情報共有し、組織的・計画的な、個々の児童生徒に応じた、イ焦点化された支援策を策定することや、ア社会的自立へ向けて進路の選択肢を広げる支援をすることが重要であること。
- 不登校児童生徒が、主体的にア社会的自立や学校復帰に向かうよう、児童生徒自身を見守りつつ、不登校のウきっかけや継続理由に応じて、その環境づくりのために適切な支援や働き掛けを行う必要があること。
- 不登校の要因・背景によっては、福祉や医療機関等と連携し、家庭の状況を正確に把握した上で適切な支援や働き掛けを行う必要があるため、家庭と学校、エ関係機関の連携を図ることが不可欠であること。その際、保護者と課題意識を共有して一緒に取り組むという信頼関係をつくることや、オ電話連絡による保護者への支援等、保護者が気軽に相談できる体制を整えることが重要であること。

- |   | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | × | × | × |
| ② | × | × | ○ | × | ○ |
| ③ | × | ○ | × | ○ | ○ |
| ④ | ○ | × | ○ | ○ | × |

問23 次の各文は、「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等～こども大綱の策定に向けて～（答申）」（令和5年12月1日こども家庭審議会）「第2こども施策に関する基本的な方針」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～オについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

- こども・若者を<sup>ア</sup>社会の担い手として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る
- こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、<sup>イ</sup>対話しながら、ともに進めていく
- こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて<sup>ウ</sup>切れ目なく対応し、十分に支援する
- 良好な成育環境を確保し、<sup>エ</sup>貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする
- 若い世代の<sup>オ</sup>生活水準の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろ）の打破に取り組む
- 施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	○	○	×	×	×
②	×	○	○	○	×
③	○	×	○	×	○
④	×	×	×	○	○

問24 次の文は、小学校〈中学校〉学習指導要領（平成29年3月告示）「第6章〈第5章〉特別活動」「第2 各活動・学校行事の目標及び内容」の一部を抜粋したものである。文中の下線部a～dについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

〔学級活動〕

1 目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、自治的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 内容

1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1) 学級や学校における生活づくりへの参加

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

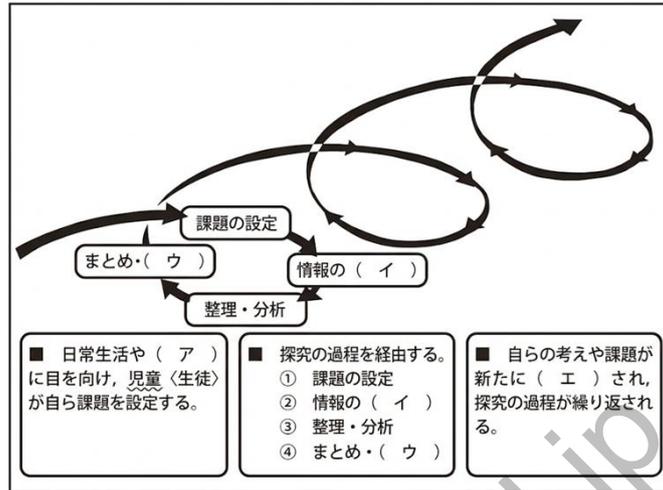
イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

学級生活の充実や向上のため、児童〈生徒〉が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | × | ○ | × |
| ② | ○ | ○ | × | × |
| ③ | × | ○ | ○ | ○ |
| ④ | × | × | ○ | ○ |

問25 次の図は、小学校〈中学校〉学習指導要領解説総合的な学習の時間編（平成29年文部科学省）「第2章 総合的な学習の時間の目標」「第2節 目標の趣旨」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

探究的な学習における児童〈生徒〉の学習の姿



- |   | ア    | イ  | ウ    | エ  |
|---|------|----|------|----|
| ① | 社会   | 収集 | 表現   | 更新 |
| ② | 学校生活 | 収集 | 振り返り | 創出 |
| ③ | 社会   | 発信 | 振り返り | 更新 |
| ④ | 学校生活 | 発信 | 表現   | 創出 |

問26 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）「第1章 総則」「第7款 道德教育に関する配慮事項」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

2 道德教育を進めるに当たっては、中学校までの特別の教科である道德の学習等を通じて深めた、主として自分自身、人との関わり、（ア）や社会との関わり、（イ）や自然、崇高なものとの関わりに関する道德的諸価値についての理解を基にしながら、様々な体験や（ウ）の機会等を通して、人間としての在り方生き方についての考えを深めるよう留意すること。また、自立心や自律性を高め、規律ある生活をする事、（イ）を尊重する心を育てること、社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養うこと、義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養うこと、（エ）と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けることに関する指導が適切に行われるよう配慮すること。

- |   | ア  | イ  | ウ  | エ   |
|---|----|----|----|-----|
| ① | 地域 | 他者 | 思索 | ことば |
| ② | 集団 | 他者 | 対話 | 伝統  |
| ③ | 地域 | 生命 | 対話 | ことば |
| ④ | 集団 | 生命 | 思索 | 伝統  |

問27 次の文は、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)「第4章 総合的な探究の時間」「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の(ア)の実現を図るようにすること。その際、生徒や学校、地域の実態等に応じて、生徒が探究の見方・考え方を働かせ、教科・科目等の枠を超えた(イ)的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習を行うなど創意工夫を生かした教育活動の充実を図ること。

(略)

(6) 各学校における総合的な探究の時間の(ウ)については、各学校において適切に定めること。

(略)

(8) 総合学科においては、総合的な探究の時間の学習活動として、原則として生徒が興味・関心、(エ)等に応じて設定した課題について知識や技能の深化、総合化を図る学習活動を含むこと。

	ア	イ	ウ	エ
①	個別最適な学びと協働的な学び	横断	目標	適性
②	主体的・対話的で深い学び	横断	名称	進路
③	主体的・対話的で深い学び	体系	目標	進路
④	個別最適な学びと協働的な学び	体系	名称	適性

問28 次の文は、高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)「第1章 総則」「第5款 生徒の発達の支援」の一部を抜粋したものである。文中の下線部a～eについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

1 生徒の発達を支える指導の充実

教育課程の編成及び実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(略)

(2) 生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己形成を図っていくことができるよう、信頼関係を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。

(略)

(4) 学校の教育活動全体を通じて、個々の生徒の特性等の的確な把握に努め、その伸長を図ること。また、生徒が適切な各教科・科目や類型を選択し学校やホームルームでの生活によりよく適応するとともに、現在及び将来のe生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるようにすること。

	a	b	c	d	e
①	×	×	○	×	○
②	○	○	○	×	×
③	×	○	×	○	×
④	○	×	×	○	○

問29 次の文は、「中学校・高等学校キャリア教育の手引き—中学校・高等学校学習指導要領（平成29年・30年告示）準拠—」（令和5年3月文部科学省）「第4章 高等学校におけるキャリア教育」「第1節 高等学校におけるキャリア発達」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

自分の将来における生き方や進路を模索し、大人の社会でどう生きていくかという課題に出会う時期である高等学校段階においては、自らの将来の（ア）を自ら考えさせ、（イ）させることが重要になる。また、高校生にとって、小学校・中学校での学びを基礎としながら、高等学校卒業以降の教育や（ウ）、生涯にわたる学習とのつながりを見通すことは極めて重要であり、全ての教育活動を通して「学ぶことの意義」や「学ぶことの価値」を知らせることは不可欠であると言えよう。現在の学習と「大人の世界（＝未来の私の世界）」との接点を発見する場でもある就業体験活動（インターンシップ）は、新たな学習課題や自分の（エ）（＝発展・成長の可能性）の気づきにもつながる貴重な機会となる。

	ア	イ	ウ	エ
①	キャリア形成	決定	社会生活	未熟さ
②	進路目標	選択	社会生活	適性
③	キャリア形成	選択	職業	未熟さ
④	進路目標	決定	職業	適性

問30 次の各文は、「生徒指導提要」（令和4年12月文部科学省）「第8章 自殺」「8.3 自殺予防に関する生徒指導の重層的支援構造」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

○ 心の危機についての正しい知識と理解を持ち、困ったときに相談できる<sup>ア</sup>援助希求的な態度がとれるようになれば、自分の危機の克服と友人の危機への支援が可能となり、自殺予防に限らず、生涯にわたる心の健康（メンタルヘルス）の保持につながると考えられます。

○ また、これらの教育活動を充実させていくためには、児童生徒が安心して学び、生活できる学校環境を整えることが不可欠です。自殺予防教育を進めるための「土台」として、困ったときに相談できる児童生徒と教職員との<sup>イ</sup>信頼関係づくり、保健室や相談室などを気軽に利用できる場とする<sup>ウ</sup>雰囲気づくりなど、「安全・安心な学校環境」づくりが求められます。加えて、児童生徒の些細な言動の変化からその心理状態に気付けるように教職員の感性を高めることや教育相談体制を整備することも、自殺予防教育の「土台」となる<sup>エ</sup>課題予防的の生徒指導を展開する上で重要です。

	ア	イ	ウ	エ
①	○	×	○	×
②	○	○	×	×
③	×	×	○	○
④	×	○	×	○

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	2	21	4	41	
2	4	22	4	42	
3	2	23	2	43	
4	1	24	1	44	
5	4	25	1	45	
6	3	26	4	46	
7	3	27	2	47	
8	4	28	4	48	
9	2	29	3	49	
10	2	30	2	50	
11	2	31		51	
12	4	32		52	
13	4	33		53	
14	2	34		54	
15	3	35		55	
16	4	36		56	
17	3	37		57	
18	3	38		58	
19	2	39		59	
20	1	40		60	